

製品名: Rab 38 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16756**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	RAB38
別名	RAB38; Ras-related protein Rab-38; Melanoma antigen NY-MEL-1
遺伝子 ID	23682.0
SwissProt ID	P57729
免疫原	抗血清はヒト RAB38 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 80-129

背景

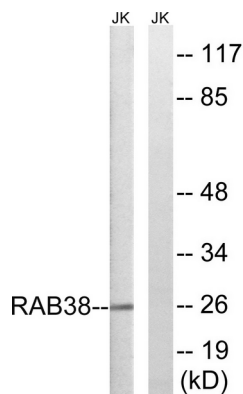
機能: メラノソーム輸送およびドッキングに関与している可能性がある。TYRP1 の適切な選別に関わる。PTM: 少なくとも1つの in vitro 系はプレニル化 C 末端を処理およびメチル化することができるが、Rab-38 を通常発現し、in vivo ではプレニル化 C 末端はタン

パク質分解によって処理されず、メチル化もされない。類似性: 低分子GTPaseスーパーファミリー (Rabファミリー) に属する。組織特異性: メラノサイトで発現する。機能: メラノソーム輸送およびドッキングに関与している可能性がある。TYRP1の適切な選別に関与する。PTM: 少なくとも1つのin vitro系はプレニル化C末端を処理およびメチル化することができるが、Rab-38を通常発現し、in vivoではプレニル化C末端はタンパク質分解的に処理されず、メチル化もされない。類似性: 低分子GTPaseスーパーファミリーに属する。Rabファミリー。組織特異性: メラノサイトで発現する。

研究分野

シグナル伝達経路; Gタンパク質シグナル伝達; 低分子Gタンパク質; Rasファミリー; シグナル伝達; タンパク質輸送; 小胞輸送; 調節

画像データ



RAB38抗体を用いたJurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。